(第2回 介護保険に関する会議 H26.7.8)

平成26年度 第2回

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議

介護保険に関する会議

2 議 題

(1) 次期計画の骨子について

次期北九州市高齢者支援計画の基本的な考え方(案)

計画の基本理念について(案)

新しいシニアライフの創造

~地域全体で支え合い、ずっと健やかに暮らせる安全・安心なまちづくり~

本市の高齢化率は政令市で最も高く、今後もさらに上昇することが予想されます。また、それに伴って認知症高齢者など援護の必要な高齢者や、高齢者単身世帯を含む高齢者のみ世帯が増加するとともに、高齢者全体の約8割を占める健康な高齢者も増加していくことが想定されます。

これまでの高齢者は、いわゆる「現役」を終えると趣味や生きがいづくりにいそしむ スタイルが見られましたが、健康寿命が延伸し「人生90年時代」を迎えた現在、「現役」後の新たなステージにおいて、高齢者がそれぞれの「夢」と「希望」の実現に向け、新しい価値観を持った生き方(シニアライフ)が展開できる、多様性が認められた環境 づくりが求められています。

また、高齢者が「現役」後も自らの心と体の健康を維持するとともに、これまでのキャリアを活かしながら、地域社会の担い手として幅広く活躍することが期待されます。

一方、本市では、高齢社会対策の中で、地域住民、地域団体、事業者、NPO・ボランティア団体、民間企業、行政などによる地域のネットワークづくりに取り組んできました。今後ますます少子高齢化や核家族化が進む中、生活支援の持続可能性を高めていくためには、みんなで地域のネットワークを充実させていくこととともに、元気な高齢者の参加が期待されるコミュニティビジネスの展開も重要になってくると考えられます。さらに、行政としても、保健福祉の専門性の見地から、援護の必要な高齢者やその家族に今まで以上に寄り添っていく必要があります。

このような「地域主義」の考え方に基づき、元気な高齢者がますます増え、その活躍が地域を支えるという新しいシニアライフをみんなで考え、創造しながら、援護が必要な高齢者とその家族を地域で支え合い、また、必要に応じて生活支援や医療・介護サービスを安心して受けることができるまちづくりを推進していきます。

	基本目標	施策の方向性
	【健やか】	生きがい・社会参加・高齢者活躍の推進
	いきいきと生活し、積極的に社会参加できるまち	健康づくり・介護予防の充実
	【支え合い】	地域協働による見守り・支援
		総合的な認知症対策の推進
		高齢者を支える家族への支援
	【安心】 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち	身近な相談と地域支援体制の強化
		介護サービス等の充実
		権利擁護・虐待防止の充実・強化
		安心して生活できる環境づくり